

世の中にないめっき皮膜で、 社会に貢献

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



皆で「幸せな会社」を目指す

業務内容

機械加工との融合で生まれる 独自のめっき技術の数々

「帝国イオン」はめっき加工を生業として、機械加工を含めたワンストップ対応ができる提案型企業だ。完全脱脂を可能にして、基材との密着性を高めた超光沢無電解ニッケルめっきのほか、硬質クロムめっきの分野では、電流制御によるデータに基づいた均一な膜厚の被覆や直径1mm×長さ100mmの極細孔への被覆を実現している。

平成11年より機械加工部門を立ち上げ、白浜工場（和歌山県白浜町）には放電加工機や研磨機といった設備もそろえる。機械加工の内製により、めっき後の寸法公差要求への対応を実現し、多様なメーカーから信頼を得ている。また、金型などの機械加工の受注も対応可能だ。

強み

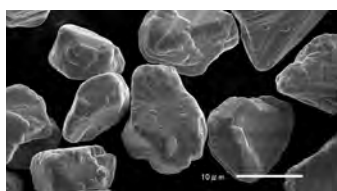
独自の特殊治具を用いて 高精度の仕上がり

従来にないめっきに挑戦する度には、めっき治具やめっき液の内製化を進めた。例えば、ワーク（対象物）に電気を均一に流すための特殊治具を考案・製作し、先端部や角に電気が集中してめっき膜が厚くなってしまいう現象を克服した。蓄積したノウハウをもとに特殊な前処理液も開発し、工程短縮や顧客が求める膜厚、耐食性、耐摩耗性といった要素を満たす。中村孝司社長は「競合他社が『やってみよう』とも思わない特殊なめっきに挑み続けてきた」と歴史を語る。特殊技術を強みに大手企業との取引も拡大しており、売り上げも増加傾向にある。

自衛技術

粉体めっきの 量産技術を確立

粉体材料へめっき処理できる技術を有



粉体素材（ダイヤモンド）にNi-Pめっき



極細孔への硬質クロムめっき

しており、工業用ダイヤモンドやカーボン、セラミックスのほか、ガラスやアクリルといった粉体素材への量産めっきを行っている。通常、無電解めっきを粉体に反応させるためには、活性化処理や触媒処理など10工程に及ぶ複雑な手順が必要だが、独自開発の薬液によって、前処理とめっき処理の2工程に短縮し、粉体への量産めっき処理技術を確立している。粉体材料はめっきすることでハンドリングしやすくなる素材が多く、近年は3Dプリンター材料やダイヤイ工具材料などの需要が増えている。

後の展望

「未来めっき」で 新たな可能性を切り拓く

将来、EV（電気自動車）化が進むと、既存めっきの仕事はこの先大きく減ると言われていることから、将来に向けためっき技術開発を「未来めっき」と位置付け、注力している。

研究開発部門を設立し、試作開発を行ってきた成果として、経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）」に2度採択された。前回採択事業では半導体向けCMPパッドコンディショナーの耐食性向上に取り組み、平成29年度採択事業では摺動部品の耐摩耗性向上に挑んでいる。豊富な最先端評価装置で自社測定できる強みを生かして、独自のめっき技術をブランド化し、世の中にないめっき皮膜で産業界に貢献したいと考えた。

当社の歴史



昭和35年に創業。現在、東大阪の本社工場では機能めっきを中心にあらゆる表面処理、白浜工場では金型と一品加工を中心に受注しています。平成9年に「ベンチャーエクスが優秀賞」を受賞してから、「テイクオフ大阪21事業」、「サポイン事業」に2度採択されるなど、研究開発に力を入れています。

代表取締役社長 **中村 孝司**さん

<http://teikoku-ion.co.jp/>

主な事業内容

表面処理加工全般、めっき加工から部品・金型加工までの一貫生産

主な取引先(納入先)

輸送機器メーカー、機械部品メーカー、工具メーカー、半導体メーカー、自動車部品メーカー

●住所

〒577-0835
東大阪市
柏田西1-12-26

●TEL

06-6727-7047

●FAX

06-6724-9766

●創業

昭和35年4月

●設立

昭和40年3月

●資本金

1,000万円

●従業員

49名

大阪29 ISO 9001